伊達の散歩道

DATE CITY WALKING 1

やながわ編

伊達氏の
足跡を辿る

伊達市商工観光課

伊達市梁川町の名所・旧跡の見どころ

①梁川八幡宮

（境内地・県指定史跡名勝、本殿・市指定文化財）

梁川八幡宮由緒によると永観２年（984）に創建、承安年中（1171 ～ 1175）、再建が行われ、奥羽から多数の工人を集め、３年がかりで完成し三重塔を建てたと伝える。

応永 33 年（1426）11 代伊達持宗が元亀２年（1571）には、16 代伊達輝宗が再建している。伊達氏の祖朝宗が高子ケ岡に勧請したとされる亀岡八幡は、伊達氏の本拠梁川城築城の際に梁川八幡に合祀された。

伊達６６郷の総社として、伊達家の篤い庇護の下、中世伊達領の総鎮守であった。17 代政宗も天正 10 年（1582）４月戦勝祈願に訪れている。

当時の祭礼は、４月１日と８月 15 日で、８月の祭礼には、流鏑馬の神事が執り行われ、市が開かれていた。

②梁川天神社

（松前藩家老波響寄進石灯籠は市指定文化財、明治丈量図絵馬は県指定文化財）

社伝では、永観年中（983）、伊達家の遠祖に当たる山陰中納言政朝が、霞ヶ岡（現鶴岡）に仮城を築いた時、北郭に社殿を建て、菅原道真公の御霊を勧請して天満宮と号した。

文治５年の役（1189）の戦功により、伊達の地を賜った朝宗の子宗村が建久(1190)のはじめ、梁川霞ヶ岡の城を改築した時、天満宮の宮跡を再興し、藤原の氏神の春日大社より、武甕槌、経津主、天児屋根の三神を奉請、城中守護の神として崇敬した。

現在地に移ったのは、天正４年（1576）伊達晴宗の代である。

寛永 12 年（1625）に、上杉氏の梁川城代となった須田長義が社殿を改修、享保 14 年（1729）松平通春が境内に別宮の東照宮を勧請した。

現社殿は、明治２７年（1894）に再建され現在に至る。

■**社務所：伊達市梁川町字上町 10**
☎ 024-577-0227

（梁川八幡宮参拝記念のスタンプは梁川天神社社務所で一緒に扱っています。）

③梁川城跡

（本丸庭園、北三の丸跡は県指定史跡名勝）

伝承では永観年間（983 ～ 85）に山蔭中納言藤原政朝が霞ヶ岡に仮城を築いたとされるが、築城は発掘調査などから 13 世紀中期頃と考えられる。それ以後、植宗が天文元年桑折に移るまで伊達氏の府城として機能した。

11 代持宗～ 14 代稙宗の時代は、奥州探題、奥州守護職の地位にあり、中央と深いかかわりの中で、京都東山文化を取り入れ、本丸庭園に「心字の池」を配するなど , 往時の伊達氏の勢力と文化の高さを示している。

17 代政宗の叔父伊達宗清入道鉄斎（梁川氏）が居城の間に 政宗は、天正 10 年に梁川八幡宮参詣をしており、梁川城に逗留している。

伊達氏の後、蒲生氏郷が若松城主となり、子息秀行の代に、蒲生喜内が梁川城１万３千石となったと思われる。

慶長３年（1598）、上杉景勝が若松城主となり、須田長義が梁川城代に配された。

天和３年（1683）徳川御三家尾張松平氏が梁川藩３万石で西三の丸に陣屋を構えた。菩提寺称名寺の毘沙門堂の瓦には葵紋が施され位牌等も見られる。

その後、井上氏や安藤氏の分領となり、文化４年（1807）には、松前氏が梁川に移封、再び本丸に本政庁を建造した。

本丸跡は、梁川小学校敷地に使用している。

■**連絡先：本丸庭園の見学は、事前に市教育委員会若しくは梁川小学校へご連絡願います。**

市教育委員会　☎ 024-577-3281
梁川小学校　☎ 024-577-1125

④大枝城跡

応永 20 年（1413）伊達氏８代宗遠の三男孫三郎宗行が大枝城に居城し、大條氏を称したのに始まる。本丸跡や二の丸周辺の土塁・空堀・曲輪が残されている。

文明 15 年（1483）伊達成宗の上洛に従い、伊達氏の重臣として活躍をしている。

天文の乱では、宗家は、晴宗方として活躍した。

天正 19 年（1591）伊達氏領が宮城県域・岩手県南部地域へ移された時、７世宗直は、伊具郡大蔵村へ移り、のちに相馬氏に近い坂元要害を守った。

⑤伊達市梁川美術館

一階は、梁川町に生まれ、日本彫塑界の巨匠故太田良平氏の記念ホールです。

二階は、市民ギャラリー（入場無料）です。

■**観覧料：一般２００円、高校生・大学生１００円、小中学生５０円**

■**休館日：月曜日**
（月曜日が祝日のときは、翌日休館）

■**連絡先：伊達市梁川町字中町 10**
☎ 024-527-2656

⑥寿健康センター

大浴場、休憩所、小体育場の他屋内ゲートボール場が併設されている。

■**入館料：市民１００円、他市町村者３００円**

■**休館日：日曜、祝日**

■営業時間：9 時～ 16 時まで
（入浴は、10 時～ 15 時半まで）
■連絡先：伊達市梁川町字菖蒲沢 84
☎ 024-577-7841

⑦八幡山龍宝寺

（山門、鐘楼、観音堂の 33 観音像は、市指定文化財、境域の一部は県史跡名勝）

真言宗龍宝寺の寺伝では、奈良時代に長谷寺開山の徳道上人の弟子、空道上人が開いたという。もと梁川城の東、菖蒲沢にあった。

龍宝寺は、梁川八幡宮の別当寺で、伊達氏の祈願寺でもあり江戸期は亀岡寺と称した。山門は、医薬門の形式で、ふくらみのある茅葺「むくり屋根」になっている。

鐘楼も茅葺屋根で、大変趣のある建築物。観音堂は、文明 3 年（1471）に伊達成宗が再建し、鬼石観音ともいわれ、信達三十三観音巡礼の第三十三番結願札所、 現観音堂は、享保3年（1713）の建立。

（所在地：伊達市梁川町八幡字堂庭 12）

⑧臥龍山興国寺

（松前家寄進駕籠、道広侯筆扁額等は、市指定文化財）

上杉氏の若松移封により梁川城代となった須田大炊介長義、旧地の信濃国の興国寺より住持警岩和尚を招き、慶長 7 年（1602）8 月 6 日、現在地に曹洞宗「臥龍山興国寺」として建立、開山した。

当時は、各地より数多くの雲水が参集、大叢林をなし、「奥州梁川の興国寺」の偉名を轟かせるに至った。

貞享 5 年（1688）2 月、梁川藩主松平出雲守の推挙により、幕府寺社奉行より禄所免許あり、僧禄司触頭となる。二世、三世和尚の勧請開山によって、信達 21 カ寺の門葉寺院が生まれた。

境内には、須田満親、長義父子の浄慶廟をはじめ、松前藩 13 世道広侯筆の扁額等が所蔵されている。名僧新井石禅禅師の銅像も見られる。

（所在地：伊達市梁川町字大町二丁目 49）

⑨称名寺と大イチョウ

（イチョウは市の天然記念物、毘沙門天像は市指定文化財）

市街地の中心に位置する称名寺は梁川藩主松平出雲守 3 万石の菩提寺で、境内のイチョウは樹高、約30メートル、幹周り6.2メートルの雄の大イチョウ。

天正 10 年（1582）寺が創建された当時から生えていたと伝えられる。

（所在地：伊達市梁川町字右城町 81）

⑩本覚寺楼門

（楼門は、市指定文化財）

楼門の建立は、天保 12 年（1841）とみられる。二階建て、四脚門形式で入母屋作りの構造である。

軒垂木や蛙股、妻飾り、破風等の細工は、高度な技術を駆使している。

風格が感じられる総檜造りの建築物。

（所在地：伊達市梁川町字内町 41-4）

⑪古町観音堂

（聖観世音菩薩坐像・六角堂厨子は、市指定文化財）

信達三十三観音巡礼の第三十番札所である。文明 17 年（1485）の再建と伝えられている。古くは、利生寺観音・利生寺殿観音と呼ばれていた。聖観世音菩薩座像は、寄木造りで柔和な優しい顔立ちの「観音様」で、室町 15 世紀の作である。

貞享 2 年（1685）に修理され、当時の梁川藩主松平義昌や側近の銘が見える。

（所在地：伊達市梁川町字古町 23）

⑫粟野地蔵尊

「粟野地蔵様」と呼ばれ、延命・子授けのご利益があると、信者が多い。

「奥州伊達郡粟野地蔵尊略縁起」によると、この地の茶屋で茶を所望した弘法大師を娘が慕い、大師の飲み残した茶の泡を飲んで妊娠出産。子供が三歳になった折、再び訪れた大師は、その子を再び泡に戻し、娘の妄念であることを悟らせた。

この時、大師は、子供の追福のため、四寸六分の地蔵を刻んだのが「泡の地蔵」で、後に「粟野地蔵」となった。

春の彼岸の中日が縁日で、12 年に一回、丑年のご開帳には多くの参拝者で賑わう。

（所在地：伊達市梁川町粟野字堂内 22）

⑬やながわ希望の森公園

広大な面積を誇る園内には、ミニ SL「さくら 1 号」、アメリカロッキー山麓のパイン材のログハウス「モンタナロッジ」、野草・薬草園、フィールドアスレチック、児童遊具等がある。

春は、咲き競う 100 種・約 2000 本の桜の樹下の花見が、夏は、キャンプ、秋は、芋煮会等自然の中で楽しめる公園です。

公園内の⑭**古民家**（お林の里）は、江戸末期の農家で、信達地域が一望できる里見山にあります。

■開園期間：4 月～ 11 月まで（入園無料）
■公園管理事務所　☎ 024-577-6100
■産業伝承館：食事もできます。
（伊達市梁川町字筒下 14　☎ 024-577-6888）

交通連絡先

阿武隈急行（本社）	☎ 024-577-7132
梁川タクシー	☎ 024-577-1141

伊達の郷にはミドコロがいっぱい！

高子岡城跡（保原）

文治５年「厚樫山の合戦」で戦功を挙げた中村常陸入道念西が源頼朝から恩賞として伊達郡を拝領し、姓を「伊達」と改め、鎮護の神として亀岡八幡宮を祀った。伊達氏発祥の地と伝えられる。

霊山寺跡・霊山城跡（霊山）

現在はトレッキングコースとして大気の名峰霊山もかつては慈覚大師が開山した大伽藍「霊山寺」があり、その後南北朝時代には、義良親王（後の後村上天皇）や北畠顕家ら南朝の雄、伊達行朝を頼り霊山城に移ったという歴史を持つ。国指定史跡名勝。

箱崎愛宕神社（伊達）

伊達氏が愛宕山周辺の金山を開発したと伝えられ、その工夫たちが始めたという「獅子舞」が今も毎年４月に奉納され、五穀豊穣、家内安全を祈願している。県指定無形民俗文化財。

月見舘跡（月館）

天然の要害として戦国期に須田伯耆の居城となり、その後須田家は伊達氏、蒲生氏、上杉氏と奥州の勇に仕えた。現在は本丸跡、二の丸・三の丸跡、空堀跡が残る。

伊達の散歩道
やながわ編
歴史めぐりマップ

◇交通のごあんない

阿武隈急行 やながわ希望の森 公園前駅	←→	A・B コースまでの距離 1.0km（徒歩 15 分）
東北自動車道 国見インター	←→	A・B コースまでの車の 所要時間は 10 分

◇ガイドのごあんない

- ボランティアガイド「すごろく会」
  - ☎ 024-577-0115（金垣）
  - ☎ 024-577-0140（佐藤）
- 梁川町郷土史研究会
  - ☎ 024-577-0632（八巻）

至国見I.C.
(郡道)
北ノ内
⑫粟野地蔵尊
粟野
伝樋川
県蚕試跡
波響屋敷跡
百壱銀行跡
清水町
三の丸土塁
桜岳
市民プール
公園前駅
梁川陣屋跡
元陣内
北本町
(新屋)
梁川中央公民館
(農村環境改善センター)
南本町
万代橋
広瀬橋
(後町)
称名寺
大イチョウ
(権現坂)
南町頭
松前藩土墓
ミニSLさくら1号
(信濃塚)
⑬産業伝承館
⑥寿健康センター
里見山
やながわ希望の森公園
広瀬座跡
⑤
梁川美術館
(寺町)
⑩本覚寺
内町
常福寺
梁川小学校
浅間神社
鶴岡
③
梁川城本丸跡
⑭古民家
菖蒲沢
龍宝寺跡
原蚕種試
小梁川
中町
鶴岡橋
県立梁川高校
梁川中学校
内山ため池
小梁川城跡
射箭神社
御八郎
古町
観音橋
岩地蔵
金沢堀
常栄寺跡
東昌寺跡
旧福島電気鉄道梁川駅跡
(広瀬大通り)
中久保
⑪
古町観音堂
大館跡
八筋
本町
万休院
四日市
(新くるま)
(金水)
至桑折
(伊達崎・飯坂街道)
至桑折・飯坂
田町
蚕業講習所跡
梁川タクシー
栄町
八雲神社
幸町
新開
西土橋
穂子川
広瀬町
茶臼山
愛宕神社
市立梁川病院
(大門道)
至福島
(福島街道)
東土橋
やご坂
鷹ノ巣
伝樋川
(一丁田)
阿武隈急行
中通り地方横断自動車道
孫老内橋
(大くるま)
杉
青葉町
伊達市梁川
総合支所
伊達市商工会
梁川駅
伊達市シルバーC
西大門
(五反田)
大関
西裏
東裏
阿武隈急行本社
至霊山・相馬
(新田街道)
県道梁川霊山線
至福島
新田
砂子堰
(伊達の逆水)
縮尺1:15,000
500m
500m
0
1,000m
1.0km
凡例
警察署(交番)
公共施設
市役所(総合支所)
学校
幼稚園・保育園
消防署
病院・医院
城跡
寺院
神社
史蹟
銀行
郵便局
お土産店(特産品)
コンビニ
スーパー
駐車場
トイレ
喫茶
食堂・レストラン
給油所
キャンプ場

Aコース

伊達氏ふるさとの神々と梁川城跡めぐり

※所要時間：3 時間

①梁川八幡宮

戦の神の八幡宮には、伊達家 17 代政宗も天正 10 年（1582）4 月に初陣報告に参詣し、伊達氏領の総鎮守として崇敬され、今日に至っている。社殿東にある龍宝寺に茅葺の山門、鐘楼など中世の姿をとどめる境域。（境域は、県指定史跡名勝、本殿は市指定文化財）

②梁川天神社

社伝によると永観年中（983）、伊達家遠祖山陰中納言政朝が霞ヶ岡（現鶴岡）に仮城を築いたとき、北郭に社殿を建て、菅原道真公の御霊を勧請し、天満宮と号した。

社殿が現在地に移ったのは、天正 4 年（1576）15 代晴宗の代である。

蠣崎波響寄進石灯籠

③梁川城跡

本丸庭園「心字の池」

北三の丸土塁

梁川城は、鎌倉時代、伊達氏によって築城されて以来、天文元年西山城に移るまで伊達氏の府城とし、その後、江戸時代初期には須田氏、中期には松平氏が代官を派遣して梁川・保原地方を支配した。末期には松前氏の本城となるなど諸侯が居城した。

（本丸庭園、北三の丸跡は県指定史跡名勝）

Bコース

藩主たちの菩提寺と仏めぐり

※所要時間：3 時間

⑧興国寺

慶長 5 年（1600）上杉氏の若松移封により梁川城代となった須田長義が建立した曹洞宗の寺院で、貞享 5 年（1688）梁川藩主松平出雲守の推挙により、僧禄司触頭となり、信達 21 カ寺の門葉寺院が生まれた。

松前藩梁川移封時の松前藩 13 世道広侯筆の扁額等が所蔵されている。

興国寺本堂

⑨称名寺と大イチョウ

浄土宗で室町時代の天正 10 年（1582）に創建されたと言われ、江戸時代には梁川藩主松平出雲守の菩提寺となる。市天然記念物に指定されている大イチョウは樹高 30 メートルを有する。

称名寺毘沙門堂

⑩本覚寺

浄土真宗本覚寺の総檜造り楼門は、天保 12 年（1841）の建立である。

（楼門は市指定文化財）

本覚寺楼門

⑪古町観音堂

信達三十三観音巡礼の第三十番札所で、古くは利生寺観音とも呼ばれ聖観世音菩薩座像は、室町 15 世紀の作とされている。

古町観音堂

貞享 2 年（1685）に修理され、当時の梁川藩主松平義昌やその家老の銘が見える。

（菩薩像・六角堂厨子は、市指定文化財）